



東広会ニュース

1月号

2009年(平成21年)

Vol.55

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

新春を祝う「賀詞交歓会」開催

東広会主催の第5回「賀詞交歓会」が、1月7日(水)18時からホテルメトロポリタンエドモントで開催された。出席者数は430名を超え、新年に相応しい盛大な交歓会となった。会場では富田哲郎J.R.東日本副社長、佐々木信幸東広会会長の挨拶文が配られた。(挨拶文全文掲載)



乾杯の音頭をとる
富田J.R.東日本副社長(左)

東日本旅客鉄道(株)代表取締役副社長
富田 哲郎氏あいさつ

新年あけましておめでとうござい
ます。

旧年中は格別の御高配を賜り有難
うございました。また、日頃J.R.東日
本ならびに、弊社交通広告をご利用
頂きまして、有難うございます。

弊社の昨年を振り返りますと、新
たな長期の経営構想として「グループ
経営ビジョン2020―挑む―」を
スタートさせた記念すべき年となりま
した。これは、10年後のあるべき姿を
見据えた目標設定を行い、それに向
かって必要な経営のギアチェンジをし、
自ら変革を行っていくというもので
す。社員一人ひとりが自らの役割に
自覚を持ち、目標達成に向けさらなる
努力を重ねて参ります。

広告事業につきましては、国際的な
金融危機の影響により回復傾向にあっ
た日本経済に厳しい逆風が吹く中、

弊社は広告媒体価値を高めるべく
様々な取り組みを行って参りました。
具体的には、昨年7月に大型液晶ディ
スプレイを用いた広告媒体「デジタル
ポスター」を東京駅八重洲南コンコー
スに設置して、東京駅をご利用の多く
のお客さまからご好評を頂きました。
今後は首都圏の主要駅へ積極的に展
開していく所存です。また、「グループ
経営ビジョン2020―挑む―」でも
うたっておりますが、駅の改良工事や
開発などに伴う設計・開発段階から
積極的に広告媒体計画を進めていく
など、早い段階から広告媒体のあり方
を考え、価値を創造していく開発計画
を進めています。一方で既存の媒体に
つきましても、大型サインボードの
サイズを統一化してきれいな媒体に
リニューアルするなど、媒体としての
価値を高めるとともに、セット商品を
企画するなど新しい商品開発に取り
組んで参りました。

今後も、本日お集まり頂いている
広告会社様や広告主様に引き続きご
愛顧頂ける商品企画や、次世代の広
告媒体の開発になお一層邁進してい
くことをお誓い申し上げる次第です。
本年もご理解とご協力を賜りますよ
う何卒よろしくお願ひ申し上げます。
皆様のご健康と各社の益々のご発展
を心より祈念し、新年のご挨拶とさせ
て頂きます。

東日本鉄道東京広告会会長
佐々木 信幸 あいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は東日本鉄道東京広告会に格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。又、交通広告・メディアを取り巻く環境が大きく変わる中で引き続き御愛顧を頂く事が出来ました。これもひとえに各会員の皆様方が多様な営業活動をされたお蔭であり、心より御礼申し上げます。

昨年は、広告業界のみならず、全ての業界にとつて極めて厳しい年となりました。年初来の原油高、原材料高に加え、後半にはアメリカの金融不況に端を発した深刻な景気の停滞が生じ、今なお予断を許さない状況が続いて



挨拶をする佐々木東広会会長

おります。しかしながらこうした逆風下ではありますが、むしろこの状況を積極的な機会と捉えて、地道な収入確保対策から来るべき「デジタル時代」を展望しての新規媒体開発迄、様々な取り組みを行なって参りましたし、又今後も取り組んで参りたいと考えております。

具体的には「女性専用車 中づりジャック」「車体広告山手・大阪環状線セット」「秋葉原ツインシート」「品川駅大型フラッグ」等新商品の設定販売から将来の媒体市場をにらんでの「中央線全編成へのトレインチャンネル導入」「京浜東北線・トレインチャンネル画面サイズ拡大の本格導入」「東京駅デジタルポスターの実証実験及び本格販売」等があります。

本年も引き続き広告・メディアを取り巻く環境は厳しく、競争は益々激化する事が想定されますが、強制的に視認される可能性があり、且つリーセンシー効果も高いと言われる交通広告の特性を磨き、今後のクロスメディア展開の中核を占めるメディアとして、媒体価値向上の為に様々な諸施策に積極的に挑戦して参る所存でございます。何卒、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と各社様の益々のご隆盛を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

携帯電話を駅ポスターに貼付！
「NTTドコモ新機種告知」

JR新宿駅、渋谷駅、東京駅、新橋駅、池袋駅、上野駅(セレクトパノラマA・B(B0×5連×上下2段(計B0/10枚))に、NTTドコモの携帯電話新機種告知として新シリーズ携帯電話(モック)を貼り付けたポスターが1月12日(月)～18日(日)まで掲出された。



▲新宿駅で展開された携帯電話新機種(モック)貼付ポスター



日本中央競馬会(JRA)の
車体広告展開！

2008年12月14日(日)から、JRAプレミアム対象レース「有馬記念」をPRする車体広告が展開された。

山手線6編成をはじめ、埼京線・りんかい線、中央線快速、中央・総武線各駅停車、武蔵野線の4路線が各1編成の計5路線10編成で実施された。

昨年発表された規制緩和によって実現した日本中央競馬会(JRA)の車体広告は、「CLUB KEIBA」を年間テーマに展開された。



「JRAプレミアム対象レース『有馬記念』をPRする車体広告(山手線)

J企交媒局「08年度第3四半期売上」まとまる

J企交媒体局の2008年度第3四半期売上がまとまった。第3四半期売上高は、109億2百万円で前年比92.2%、▲9億22百万円の大減となった。第4四半期も、各種「企画商品」の設定や新規開発商品の早期投入等の積極的な施策が取られているが、景気低迷を受け、車両メディア、駅メディアとも引き続き厳しい状況となっている。

■車両メディアの概況

(第3四半期実績6,550百万円、前年比89.2%)

厳しい状況の中、特に「3線群中ぐり」の落ち込みは大きく、出版社の出稿減(▲2.6億円)、大口出稿減等により、対前年▲4.5億円の減収となった。

その他、「3線群まど上・ドア上」

「ドア横新B」「東海道/宇都宮・高崎/常磐線」「ADトレイン」「車体広告」の販売も低迷し、前年を下回った。

「トレインチャンネル」は、京浜東北線の導入増により販売は堅調に推移し、対前年を上回った。

一方、規制緩和(公営競技・貸金業)が実施され、山手線車体広告では、

■駅メディアの概況

(第3四半期実績4,182百万円、前年比93.8%)

車両メディアと同様に販売は低迷し、特に「駅ポスター」の落ち込みは大きく、

JRAプレミアム対象レース「有馬記念」の展開が実施されるなど、新しい取り組みが行われた。

10月には、東京駅で7月から実証実験が行われていた「デジタルポスター」が商品化され、本格的な販売が開始された。

大口出稿の出稿減等により、対前年▲2.7億円の大幅減収となった。

「SPメディア」は、10・11月は前年を上回ったものの12月に大きく落ち込み、第3四半期では前年を下回った。

「サインボード」は、駅改良工事と連動した媒体開発として立川駅(25面)、媒体整備(リニューアル)として新宿駅、川崎駅、蒲田駅、石川町駅等が行われた。また、ベンチ広告、駅周辺案内図等も積極的なリニューアルが行われた。



トレインチャンネル (中央線快速)



ベンチ広告



駅周辺案内図広告



デジタルポスター

<2008年度第3四半期実績>

(単位:百万円)

媒体	2007年度第3四半期	2008年度第3四半期	前年比	増減
車両メディア	車内ポスター	5,888	86.1%	-819
	ADトレイン等	322	91.5%	-27
	車体広告	391	67.4%	-128
	トレインチャンネル	743	124.2%	180
	車両メディア計	7,344	6,550	89.2%
駅メディア	駅ポスター	1,284	79.2%	-267
	SPメディア	663	98.2%	-12
	サインボード	2,272	100.3%	6
	フリーペーパーラック店舗ラッピング	240	98.2%	-4
	駅メディア計	4,459	4,182	93.8%
その他※	41	190	462.3%	149
合計	11,844	10,921	92.2%	-922

※デジタルポスター・ステーションチャンネル・SuiPomini・オレンジカード調査等

サインボード新規開発 新松戸・三郷駅を媒体開発

J企は昨年(平成20年4月)に武蔵野線サインボード媒体を(株)ジェイアール東日本都市開発より移管を受けたが、老朽化した新松戸・三郷駅の2駅については本年度内に媒体の整備を行う。

新松戸駅については、LED蛍光管の使用を前提に媒体開発を進めており、常磐線緩行ホーム上り・

下り線前にある既存媒体を撤去後、媒体整備を行う。

三郷駅では、コンコース及びホームでの媒体整備を行う。

今回は初めて高出力タイプのLEDを使用した媒体開発を行い、球数を約半数に抑えコストダウンを図り、これにより広告料金と電気料金が低減となる。販売は1月末頃の予定。

お問い合わせはサインボード部
(電話03・5447・7884)へ

サインボード新規開発 川崎駅で25面設置

J企は「川崎駅BEの改装オープン」(昨年11月14日)に併せ東口1階自由通路に従来の蛍光管からLEDエッジライト式薄型面発光パネルにリニューアルしたサインボード25面を設置した。

これは自由通路上の柱面に外付け設置するため、お客様の流動支障にならぬよう極力薄型に設計し、かつ、適切な照度と発光面の均一化を確保した。また、コストダウンを図り地球環境にやさしい媒体となっており、クライアントからも好評を得ている。



川崎駅東口1階自由通路 サインボード

お問い合わせはサインボード部
(電話03・5447・7884)へ

作業責任者安全講習会

■平成20年度第2回「作業責任者安全講習会」の開催日について

駅構内で作業を行う作業責任者に対する「安全講習会」が、東京メティア・サービス設備管理部安全指導課の主催で2月16日(月)、17日(火)、19日(木)、20日(金)の4日間で10回の継続講習会と20日(金)では新規講習会が2回含まれ計12回の講習会が池袋メトロポリタンプラザ12階第一会議室で行われる。

受講対象者は、広告会社関連の社員だけではなく、駅構内で調査などを行う社員等幅広いものとなっております。今年度2回目が実施される。

作業責任者に登録されている方は継続受講者として全員が受講対象者



昨年の講習会風景(2月21日)

となり、受講されなかった場合は登録証が無効となるので注意されたい。講習内容は「作業責任者としての任務の徹底」「誘導員の任務の習得」となっている。昨年同時期に開催された講習会には1,291名の参加者があった。

東広会会員には、既に各社あてにFAXでご案内を送付済ですが、受講を希望される方は1月30日(金)までに申込をお願いします。

※詳細は東京メティア・サービス設備管理部安全指導課
(電話03・5391・1246)へ

お知らせ

◆東広会主催の会議予定について

・第4回理事会

3月12日(木)16時30分から

J企会議室(13階)

・第5回理事会

4月9日(木)16時30分から

J企会議室(13階)

・定期総会(第6回)

4月24日(金)14時から

ホテルメトロポリタン(池袋)

会員名簿変更

・代表者変更

(株)マツキャンエリクソン(1月15日付)

執行役員媒体担当 松井 薫氏

・退会

(株)富士宣伝

(1月19日付)